

- 1 日 時 令和元年（2019年）5月29日（水）15時30分～16時30分
- 2 場 所 山口小学校
- 3 出席者 都市計画部 部長、次長
公有地利活用推進課 課長、課長補佐、係長
教育局教育総務課 課長、係長
一般財団法人21世紀教育会 常務理事、評議員
- 4 参加者 16名

5 内 容

(1) 説明内容

山口小学校跡地利活用（案）について、別紙説明会資料を用いて説明した。

(2) 質疑・意見交換（○：市、●：参加者、△事業者）

△地元からの要望があれば算数や国語の教室や音楽教室なども実施したい。

→●シルバーで山口小学校の教室を平日に月2回利用して輪投げや吹き矢をしており、また体操教室も平日月2回程度実施している。2階のCAI室を使うこともある。地元の利用と21世紀教育会の利用がぶつからないようにしてほしい。

→△基本的に21世紀教育会で利用するのは土日のためバッティングすることはないと思う。そのため利用が重複することはない。

→●どうしてもバッティングするときは調整してほしい。

●今後の鍵の管理とグラウンドの駐車場利用について。

→○今後賃貸借契約を結ぶことになるが、利用者が使いやすいやり方で管理できればと考えている。グラウンドについては筑波地区学校跡地について、各学校跡地ともグラウンドで子供たちが遊ぶことができるようになっているため、グラウンドはそのままの状態駐車場として利用するようになる。

→△参加者は130名程度になり車で来るため、子供たちが午前中遊んでいる時には役員等が早めに来て対応したい。

→●車の往来が増えるようになるので、交通には気を付けて対応してほしい。

●IS値0.57は震度いくつぐらいで影響が出るのか。

→○耐震基準のIS値0.6は震度7の地震の際に倒壊の危険性が低いという値になる。実際には震源地からの遠さや深さ、地盤などによって被害は異なる。体育館は新耐震基準。

以 上